＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| 株式会社フィールズ |

②施設・事業所情報

|  |  |
| --- | --- |
| 名称：ライム | 種別：共同生活援助 |
| 所在地：神奈川県相模原市南区 | |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：2007（平成19）年10月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人　県央福祉会 | |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| ノーマライゼーション、及び法人の理念「障がい児・者、高齢者のノーマライゼーションの実現からソーシャル・インクルージョン(共生社会)を目指します」に基づいて、「個々の意思及び人格を尊重し、生活全般の質の向上を目指して支援する」ことを基本方針としています。  また、運営の方針として、  1　利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事等の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。  2　利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。  3　地域及び家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、他の障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。  4　関係法令を遵守する　等のことを明示しています。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| ホームは、神奈川県内で幅広く福祉関係事業を展開する社会福祉法人県央福祉会が運営を行っています。小田急線相模大野駅北口または、JR横浜線相模原駅南口よりバスで20～30分、最寄りのバス停から徒歩2分の所にあります。施設は定員19名に男女合わせて19名が生活しています。  建物は鉄筋コンクリート造り2階建で１・２階を使用しています。建物内はバリアフリーで明るく、清掃が行き届き清潔です。リビング兼食堂は広く、廊下も車イスのすれ違いに十分な広さがあります。全居室にはトイレ・洗面台・エアコン・ナースコールが確保してあり、利用者の自立支援をサポートしています。  入居の際、利用者や家族に説明するサービス利用契約書は、誰もが分かりやすく平易な文章で漢字にはふりがなを付けています。利用者の高齢化・重度化が深刻な状況になって来ている中で、外部の医療ケアサービスと連携を深めて対処しています。また、重度化・高齢化する利用者に対応するため、今後、日中サービス支援型共同生活援助へ移行することになっています。  平成30年度に看護師、往診医と連携をとり看取りを行っており、後見人、家族等と連絡を取り葬儀を実施しています。毎月、常勤会議、職員会議、個別支援会議を開催し職員間の意見交換、勉強会、情報共有を図っています。また、利用者懇談会を毎月開催し、利用者とのコミュニケーションを図っています。 |

⑤第三者評価の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 | 平成31年3月30日（契約日） ～  令和元年11月5日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 0回（　年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| **◇特に評価の高い点**  1．安心・安全なサービス提供を行っています  危機管理マニュアルを備え職員に周知し、発生したホームでのインシデントやヒヤリハット記録、法人で集計したヒヤリハット事例等を職員会議で毎月検討し、事故の発生予防に備えています。  2．福祉理念に沿った利用者支援を行っています  利用者が自由に、いきいきと生活している様子がうかがえます。職員がよく連携し、利用者の声をしっかりと受け止めて日常生活を支援しており、多くの利用者から信頼と満足の声が上がっています。福祉理念の基本にしっかり則って支援を行っています。  **◇改善を求められる点**  1．非常災害用備蓄品の整備  非常災害用の飲料水、食料品を５年分備蓄しています。しかしながら備蓄品リストがありません。備品を含めた備蓄品の整備と備品庫の整理、併せて賞味期限等を記載した備蓄品リストを作成し、職員誰でもが分かるように備品庫に掲示しておくことが望まれます。  2．重度化や終末期に向けた方針の共有  ホームでは医療連携の下、看取りを行っています。今後、看取り支援の要望が増えていくことが予測されます。終末期ケアに向けた指針・手順等を備え、職員全体で共有し、家族や医療関係者等と連携を図りながら、チームで支援に向けた一層の体制づくりが期待されます。 |